

広報 やまと

79/5

一町の人口一

| | 5月1日現在 | 前月比 |
|-----|--------|------|
| 男 | 14,143 | + 3 |
| 女 | 14,242 | - 5 |
| 計 | 28,385 | - 2 |
| 世帯数 | 6,304 | + 13 |



老人芸能発表大会開かれる

去る3月29日、柿岡中学校体育館を会場に、百寿会連合会主催の『老人芸能発表大会』が開かれ、約900名のお年寄りが参加しました。

大会では、この日のため、日頃から練習してきた自慢の歌や踊りを約60組（人）のお年寄りが発表し、楽しそうに見学するお年寄りの拍手や笑顔が絶えず、なごやかな雰囲気の一日となりました。

今月号のごあんない

| | |
|---------------------|---------|
| 郷土をよくする研究集会 | 2 - 3 P |
| 区長全員協議会から | |
| みんなの公民館 | 4 - 5 P |
| 県政モニターに大字上曾の関田さんが | |
| 羽生家住宅が300年前の姿に、明るい窓 | 6 P |
| 保健婦の健康メモ、くらしの知識 | 7 P |
| おしらせ、やまと文芸 | 8 P |

行き帰り よそ見 道くさ事故のもと

芦穂小6年
渡辺 操

郷土を

よくする研究集会

●大人も率先してオアシス運動を!

私たちの身近な問題を地域・町ぐるみで解決し、より明るく住みよい地域づくりを進めるための「郷土をよくする研究集会」が、区長会、婦人会、PTA等の各種団体や一般の方約百五十名を集め、去る二月に八郷公民館において開催されました。

研究集会は、開会行事の後三

つの分科会に分かれて行われ、第一分科会では「生活改善の推進」というテーマで、主に冠婚葬祭の簡素化をめざした取り決まり事項について検討されました。

第二分科会では「地域連帯意識の高揚」というテーマで、公害問題、公民館建設の推進、交通安全対策、明るい選挙の推進についての話し合いが、また第三分科会では「青少年の健全育成」というテーマで、オアシス運動の推進やカギッ子、遊び場問題など、青少年の健全育成のための社会・家庭教育等について討議されました。話し合われた主な内容は次のとおりです。

「冠婚葬祭の簡素化」

- 葬式の取り決めについて
- 生活改善推進協議会が中心になり、全町的立場で取り決め事ができたので、これにより実施されつつあるが、一部地域ではまだま



だ不十分な状況のため、全

「公民館建設の推進」

- 八郷公民館、地区公民館の建設については、町の総合計

町で足並みをそろえるようそれぞれの関係者が努力する。
●葬式関係のポスター（花輪、供物等）の利用を積極的に進めることで、お祝事も華美になりつづるので、これらの簡素化についても推進する必要がある。

「公害の追放」

●河川や井戸水の汚染が目立つので、粉せつけん利用の推進をはかる。そのためには、共同購入や上手な利用法等の講習が必要である。
●燃えるゴミ、燃えないゴミの区別は各家庭で正しく行い、別々の袋に入れて出すこと。

●公害の中で畜産公害が八〇パーセントを占めているので、生産者のモラルの向上をはかるとともに行政指導を強化する。また、被害者は勇気をもつて町へ連絡する。

区長全員協議会から

道路・緊急医療問題など

身近な問題に活発な質問

四月十八日、町の区長さん百二十四名と、町長はじめ役場の課長全員が出席し、区長全員協議会が八郷公民館で開かれました。

町長は、長い間区長として尽力され、このほど退職された六十八名の方々に感謝状を贈つてからあいさつに立ち、節約できるところはできるだけ節約し、第一分科会では「生活改善の推進」というテーマで、主に冠婚葬祭の簡素化をめざした取り決まり事項について検討されました。

第二分科会では「地域連帯意識の高揚」というテーマで、公害問題、公民館建設の推進、交通安全対策、明るい選挙の推進についての話し合いが、また第三分科会では「青少年の健全育成」というテーマで、オアシス運動の推進やカギッ子、遊び場問題など、青少年の健全育成のための社会・家庭教育等について討議されました。話し合われた主な内容は次のとおりです。

●葬式の取り決めについて

●生活改善推進協議会が中心になり、全町的立場で取り決め事ができたので、これにより実施されつつあるが、一部地域ではまだま

だ不十分な状況のため、全

●八郷公民館、地区公民館の建設については、町の総合計

町長が対策を説明しました。その一部を拾つてみますと――

質問 畜産公害について町の考えはどうか。

説明 畜産公害対策は従来から苦慮している問題で、現在、畜産環境整備事業を進めている。フン尿を特殊肥料フォーマークリックに加工する畜産フン尿処理施設も完成し、フン尿処理を行つてはいるがまだ十分ではない。

養豚、養鶏園地化などを図り、なるべく早く畜産公害を追放したい。

質問 補装道路（町道）が破損しているが修理はどうなつていい。説明 修理については建設課で定期的に行つてはいるが、目が届かない所もあるので、破損した所がある時は、区長さんから建

画の中に含まれており、昭和五十四年度は林地区公民館の建設を予定している。

かる。

明るい選挙の推進

青少年の健全育成

るべきである。

●町内で公民館のない部落は三分の二以上ある。町では、部落公民館（集会場）の建設については三十万円の補助金を交付し、その建設を推進している。

●町からの補助金の不足分を部落の寄付でおぎない、りっぱな公民館を建設した部落もある。

要は部落の人々の熱意と協力が大切である。

交通安全対策

●中学生、高校生のバイクの運転については、学校と家庭が協力し、十分な指導が必要である。特に家庭ではもつときびしさがある。

●飲酒運転撲滅運動の推進をは

●明るい選挙の会が昭和四十年度に結成（当時会員数一千九百五十一名、一千五百七十二戸）されたが、現在は名前だけになってしまったので、再編成する必要がある。

オアシス運動の推進

●家庭内のオアシス（オーオハ）ようございます。アーリーがとうござります。シーサイドレクリエーション。スムーズな運動の推進をはかるとともに、しつけについても十分な指導が必要である。

●大人は子供のオアシス（あいさつ）に返答するばかりでなく、大人から声をかけるよう心がけ

●未成人者（中学生、高校生）の性についての犯罪が多発の傾向があるので、学校、家庭、警察等地域ぐるみの指導、助言が必要である。

●公共的な子供の遊び場（子供も大人も楽しめる施設）が必要である。

●カギツ子が増加の傾向にあるので、子供の安全のため、学校や地域社会が一体となつた指導が大切である。

●今後、これらの課題解決のために、公民館、婦人会、区長会等を中心に、関係団体の協力を得て、改善に努め推進をはかっていきますので、皆さんのご協力をお願いします。

下回る結果となっています。

また、協議会終了後、昭和五十四年度区長連合会定期総会が開かれ、連合会の新年度予算や新役員などが決まりました。区長連合会の新役員と、感謝状を受けた退職区長は次のとおりです。

▽区長連合会新役員

○会長 白田順六郎（加生野）
○副会長 吉川浩（前島）土佐藤吉（北郷）○監事 大岡信一（中戸向坪）長津重雄（山根）

▽感謝状を受けた退職区長

○柿岡地区 萩原富次（新地）
九島久林（上宿）福井仁一（新宿）木村利雄（北町）川井玄一（内宿）植木芳三（下宿）高橋義一（館）内木千秋（八重）稻田昭（長堀）小松崎正之（金指）渡辺喜伴（片野上宿）山中頼光（片野下宿）関浩太郎（片野横

町の投票率を見ると、有権者が行われ、現知事の竹内藤男氏が五十万九千五百八票を獲得し、再度当選しました。

今回の選挙は、有権者の関心が盛り上がり、棄権防止の呼びかけを懸命に行いましたが、

午後からの雨もたたつてか投票率は悪く、低調な選挙となりました。

町の投票率を見ると、有権者が五十万九千五百八票を獲得し、再度当選しました。

今回の選挙は、有権者の関心が盛り上がり、棄権防止の呼びかけを懸命に行いましたが、

△感謝状を受ける退職区長



町）○小幡地区 塚谷福重（十

三塚）磯崎正一（細内）柴山伊

三郎（堀之内）海老沢勝一（横

町）広瀬豊（石沢）木崎真（上

青柳）潮田重夫（細谷）高橋政

男（下青柳東）木村新二（原押

越）○芦穂地区 鈴木勝男（小

山田）鈴木啓（上山）足立武雄

（山居上寺）柴崎善夫（小屋）

馬立林藏（上曾）木村正市（北

の内）中島仁平（小倉）本岡春

雄（辻）野村惣市（龍田）○恋

瀬地区 宇田弥三郎（細内）友

部忠（和内）友部美治（仲内）

野尻実（小見第一）寺内清作（小

見第二）○瓦会地区 島田幸

一（上宿）小河原清（下宿）池

田賀男（両柳山寺）山崎亮（石

野）小松頼（下三郷）柴山清（宇

治会第一）萩原敏一（宇治会第

二）野村文次郎（弓張）杉山進

一（部原）島田和恵（野田）泉

谷伊都雄（佐久）比企政雄（小

塙）○園部地区 真家哲一（柴

間）猫崎操（上郷）長谷川喜一

（小堀）田中章（真家）広瀬一

夫（真家宿）真家四郎（長原）

倉田藤太郎（東成井下坪）○林

北地区 皆川昭夫（根小屋）富田

常男（下林）飯塚菊男（飯塚）

飯塚光幸（里）市塚泰三（片岡

北部）○小桜地区 友常勝夫

（月岡向坪）小沢和一（月岡本

田）萩原一郎（弓弦）松延栄治

（辻）大貫義男（菖蒲沢）鴻巣

助次（小野越）加藤義寿（仏生

寺）島田光雄（中山）

任期満了に伴う茨城県知事選挙は、四月八日の午前七時から午後六時まで全県下一起に投票が行われ、現知事の竹内藤男氏が五十万九千五百八票を獲得し、再度当選しました。

今回の選挙は、有権者の関心が盛り上がり、棄権防止の呼びかけを懸命に行いましたが、

午後からの雨もたたつてか投票率は悪く、低調な選挙となりました。

町の投票率を見ると、有権者が五十万九千五百八票を獲得し、再度当選しました。

今回の選挙は、有権者の関心が盛り上がり、棄権防止の呼びかけを懸命に行いましたが、



オアシス運動原稿 入選作品の紹介



真家 紀美子

あいさつは宝物

あれは長女が二歳半くらいの時だった。今朝のように寒く暗い朝だった。私は過去の記憶を明と暗で覚えている。嫁いで来た日、夫の○×様がすらりと並んだ床の間は、とても暗かつた。長女が生まれたあの病院は、まぶしい明るさだった。

無口な長男が畑仕事の帰り道アリサンとアリサンがゴツンコトと初めて歌ったあの日の夕焼けは、とても真っ赤だった。

それまでは、どんなに非の夫のわがままも、だれ一人味方なしの嫁はじつと服従した。が、人間許すべかりが愛じないと爆発した時、夫は、重

石のきかない私になお一層の重石をせた。元はささいな事でも後遺症が輪に輪を広げ、必ず暗い空気が漂い、子供達にはただただ頭の上がらぬ親だと後悔する。

そんな時、「おはよう」と、それはそれは字に表現できない程元気のよい娘が起きてきた。

無言のままでの私達もつられて「おはよう」と返事した。

外で顔を洗つて来た娘は、「たらいや桶にガラス（氷）がいっぱいあつた」と話しかけてくる。思わず一言又一言と元の様な空氣にもどつた。

実は前の晩、娘のまづい顔が、私の実家の方に似てるといい出した夫……いや違うと私はからああだこうだと……なのに娘は「お休みなちやい」と両親の口論の間を抜けるようにしてふとんへ……

数日後、長女と共に、生まれたばかりの長男の初客に実家へ行つた。

「この間ネ」と娘に教えられた事を母に話した。「バカだねお前、そんな事で又」と返る言葉に、私は恥かしさを笑いでかくした。

「素直な気持ちで謝っちゃうのよ」すみませんね。って。それともお前自分が美人だと思うの」「ううん」「んじゃお父さんの言うとおりだね、お姉ちゃん」

こんな会話を後、二人の孫を迎えて上機嫌な母は、黒いくしやくしなシワを隠そうともせず、こせこせと動いている。

大字上曾の関田さんが

県民の声を積極的に県政に反映させ、『県民とともにある県政』を推進していくための「県政モニター」に、大字上曾の関田光男（32）さんが、四月から委嘱されています。

関田さんは、私たちの意見や要望を県政に反映させるため、これから一年間いろいろとお骨折りいただくことになります。

県政や県の仕事に対し、不満や要望、意見などをおもちの方は、関田さん（電三一六七八八）までご連絡ください。

なお、関田さんは柿岡のマルシチ（電三一〇〇〇七）に勤務しております。



お宅のブロックベイは

大丈夫ですか？

そう倒れるものではありません。皆さんも、正しい建て方によらないブロックベイや石ベいの危険性を十分認識し、危険なへいをなくすよう心がけてください。

ところで、お宅のブロックベイは大丈夫ですか？この機会に一度点検し、不安を感じたら補強をしておいたほうがよいでしょう。補強方法は、役場建設課へお尋ねください。

なお、ブロックベイや石ベいを建てる時は、次の事を参考にしてください。

- 高いの高さをあまり高くするのは避けましょう。望ましい高さは、ブロックベイなら二メートル以下（ブロックの厚さの十倍以下なら一層安全）、石ベいなら一・五メートル以下です。
- 高いは建物から五十センチ以上離しましよう。接近すると控え壁もと

消防活動の障害にもなります。

しかし、建築基準どおり、基礎、鉄筋、控え壁がしつかりていれば、

△解体修理前の建物



羽生家住宅が300年前の姿に

昭和53年1月から解体修理が行われていた国重要文化財指定の羽生家住宅（大字上青柳、羽生元信さん所有）は、去る3月に工事が完了し、約300年前の姿に生まれ変わりました。

17世紀後半の建設と思われる羽生家住宅は、建物全体のいたみや傾斜がひどかったため、財団法人文化財建造物保存技術協会に設計監理を委託して解体修理工事を行ったもので、後世になってから改築や増設された所は、建設当時の姿に復元されました。

なお、解体修理の総工費は5,200万円で、国・県から95パーセントの補助があり、残りを町と羽生さんで半額ずつ負担しています。

△解体修理後の建物



新入児童全員に梅の苗木をプレゼント



八郷町緑化推進会議では、四月六日の町内小学校入学式の当日、今年の新入児童四百三十名に、「県の木」に指定されている梅の苗木を一本づつ贈りました。

緑化推進会議は、森林資源の愛護や自然保護のため緑化運動を繰り広げており、この梅の苗木は、子供たちが自然に親しみ、郷土を愛する心を深めることを願つて贈つたもので



第1回教育振興大会開かれる

第1回八郷町教育振興大会が、去る3月27日、柿岡中学校体育館で開かれ、その席上、第1回教育論文の入選者など42名の先生が表彰されました。

県政にあなたも参加を



◎ありがとう

- 新入学児童西三百三十七名へ黄色い帽子（男子野球帽、女子鍋型帽）
- 鳴総グループ 嶋田徳寿
- 総合運動公園ヘドウダンツツジ百本 根小屋 上田孝之
- 柿岡保育所へ鉄製登り棒一式（六人用） 柿岡 菊地丈夫
- 吉生小学校へ鉢物十五鉢 吉生 岡崎 進
- 林保育所へ五千九百四十九円 林地区お父さんソフトボーラルチーム（アトムズ）
- 大塚公民館へ座布団五十枚 大塚 友部三男

県では、住民参加の県政を推進し、県政を皆さんとの共同作品とするため、住民提案制度を実施しています。そのため、住民提案カード（知事へのたより）を設置し、皆さんからの提案をお待ちしています。

提案カードは役場の住民課窓口に用意しておりますので、皆さんの意見をぜひ知事へお伝えください。



過食をやめ

肥満の予防を

健康づくりということが叫ばれ、健康づくりについての関心も高まっていますが、まだ多くの問題を残しています。

健康づくりにおける栄養問題には、貧血や肥満に関する過剰

摂取、偏食、美食の問題があげられます。女性の場合は生理的に、特に子供が生まれたりするとホルモンの分泌などの関係で、どうしても肥満の傾向がでてきます。さらに、現在はカロリー摂取量の増加と運動不足が拍車をかけています。また、肥満が一番問題になる人々は、農村婦人だと指摘されています。

そして、肥満者の割合を調べてみると、二十代から五十代まではだんだん増え、六十代になると減り始め、七十代になるとさらに減ります。これは、五十年代の人方が食事に注意をして六十年代になつて減量したというわけ

ではなく、六十代になると肥満の人気が多く欠けてくる。つまり、肥満の人の死亡率が高いことを物語っているわけです。では、肥満は何が原因しているのでしょうか。肥満は、摂取カロリーが消費カロリーを上回る時（過食の時）にのみ起こりますので、「肥満は過食によって起る」といってもさしつかえありません。

◎ 肥満の治療

肥満は過食によって起るわけですから、治療としてはいかにして摂取カロリーを消費カロリー以下にするかということです。その一つとして食習慣改善療法があります。この療法は、一日三回規則正しく食事をとり、できるだけ間食を控え、そして糖質類も控えめにということを原則に、食べ方のうえでは——①すべての食物を小さく切り刻む。

②一口について十回から十五回かむ。

③口に入れた食物を全部飲み込まずでしまって、次のものを

④一口食べたら必ずはしを置く。

ナスのおいしい季節になりました。ナスは、油と大変相性がよいので、ひき肉をはさんだボリュームのある揚げ物にしてみましょう。

作り方：(1)ナス小六個のヘタをとり、縦二つに切り、厚さ半分のところを、ヘタの方の四分の一を残して切り目を入れ、水に放してアグ抜きし、水をよくります。(2)豚ひき肉百五十グラムにショウガ汁

くらしの知識

ノビやツキ・モチを重視するのは「怖い」

皮膚の表面は天然クリームの皮脂膜で覆われています。この皮脂膜に化粧品中の界面活性剤が入り込み、香料、色素、鉱物油中の成分が表皮や真皮の組織に浸透していくます。これらは皮膚には異物であり、刺激物となることがあります。こういう状態をくり返していると皮膚は組織が萎縮し固くなる、「マラニン色素」を沈着させる、「シミができる」あるいは顔面黒皮症になることがあります。

またメーカーは、光や振動、温湿度などへの安定性や香り、肌につけた感触を大事にします。

しかし、これらは多種類の原料の使用にもつながり難しく、予防のほうは確かに重要で、そのうえ効果も上がります。

化粧品とそのトラブル

いまや化粧品は「危害」の王座

化粧品は薬事法にもとづく原

料で、厚生省の許可を得た製造業者によって衛生上安全を保持するよう作られています。し

かし、実際に化粧品による皮膚障害が起り、国民生活センタ

ーにも三百七十二件（昭和五十年四月～昭和五十三年八月）も訴えがあり、いま最も多い

危険となっています。

化粧品障害の被害者にならないために

化粧品を使用するときには、自分にとってその化粧品が本当に必要かどうかをよく考えてみてください。そして、購入した化粧品はワンシーズンで使い切るようしましょう。また、化粧は短時間少量の使用を心がけ、化粧品は「おしはバフで上から押さえながらつけなおしをした方がよい」といいます。

化粧品は「おしはバフで上から押さえながらつけなおしをした方がよい」といいます。

化粧品を使用するときには、自分にとってその化粧品が本当に必要かどうかをよく考えてみてください。そして、購入した化粧品は「おしはバフで上から押さえながらつけなおしをした方がよい」といいます。

(1)すぐにその化粧をやめる。

(2)化粧をしない。他の化粧品に切換えることもしない。

(3)素人療法の軟膏などをつけず

(4)専門医に診てもらう。

(5)メーカーには遠慮せず苦情をいつた方がよい。原因がはつきりしない場合でも、返品、返金に応じているメーカーも

